

コンパクト室町時代

天皇ごとの出来事を箇条書きでまとめましょう

建武の新政 摂関廃止、天皇親政、 繪旨の絶対視 記録所(最高機関) 雑訴決断所(所領裁判) 武者所(軍事) 陸奥将軍府(義良親王、頼家) 鎌倉将軍府 (成良親王、直義) 国司・守護の並置 二条河原落書 恩賞不公平 大内裏造営計画 紙幣発行を計画	足利尊氏(1)・義隆(2) 中先代の乱(北条時行) 建武式目発表(施政方針) 光明天皇擁立(北朝) 後醍醐吉野へ(南朝) 室町幕府開府 後醍醐死→後村上天皇 元へ天龍寺船派遣 (夢窓疎石) 鎌倉府 (関八州、伊豆・甲斐) 観応の擾乱 (足利直義×高師直) 半濟令	足利義満(3) 九州平定、全国統一 (九州探題今川了俊) 1390 花の御所(室町) 明德の乱(山名氏清) 1392 南北朝合体 1392 高麗滅亡、朝鮮建国 鹿苑寺金閣(北山山荘) 応永の乱(大内義弘) 太政大臣任官 1401 明に朝貢 (正使祖阿、副使肥富) 1404 勘合貿易開始	足利義持(4) 父への上皇の称号拒否 勘合貿易中断 (朝貢貿易を屈辱) 上杉禅秀の乱 (鎌倉公方×関東管領) 1419 応永の外寇 (朝鮮が誤解して対馬侵攻) 1428 足利義持死去 1428 正長の徳政一揆 (徳政令発布を要求) (私徳政を実行) 1429 播磨の土一揆	足利義教(6) くじ引き将軍、万人恐怖 1429 琉球王国(尚巴志) 勘合貿易再開 →抽分銭の収入 →奉公眾を強化 1438 永享の乱 (鎌倉公方足利持氏滅ぼす) 1440 結城合戦 (持氏の遺児を滅ぼす) 1441 嘉吉の変 (赤松満祐が義教暗殺) 1441 嘉吉の徳政一揆	足利義政(8) 鎌倉公方分裂 (古河公方と堀越公方) コシヤマインの戦い →堀越氏が蝦夷の支配者に 1465 日野富子、義尚出産 1467 応仁の乱 山名宗全×細川勝元 義規、西軍へ走る 蓮如、越前吉崎御坊 1473 宗全、勝元病死 1473 義政将軍引退 →東山山荘へ逃避
足利義尚(9) 1477 応仁の乱収束 日野富子が実権 →関銭、津料収入 勘合貿易の実権は 大内氏と細川氏に 一条兼良『樵談治要』 桂庵玄樹、朱子学伝来 1485 山城の国一揆 (8年間自治@平等院) 1488 加賀の一向一揆 (門徒が100年間自治) 1489 雪舟、水墨画大成	足利義材・義植・義栄 北条早雲、堀越公方を 滅亡(最初の戦国大名) 1500 撰銭令 (撰銭禁止、公定相場) 1510 三浦の乱 (日朝貿易断絶) 1523 寧波の乱 (大内氏が勘合貿易独占) 1532 法華一揆 (京都の富裕町衆の団結) 1536 天文法華の乱 (応仁の乱以上に京都荒廃)	足利義輝(13) 1543 鉄砲種子島伝来 1549 ザビエル鹿児島 1551 大内氏滅亡 →勘合貿易断絶 後期倭寇(中国人主体) 1559 ガスパル・ヴィレラ ・京都に南蛮寺を設立 ・堺は東洋のベニス 1560 桶狭間の戦い 上杉謙信、関東管領就任 1565 松永久秀、義輝暗殺 1568 信長、城下に樂市令	足利義昭(15) 1568 織田信長入京 1569 二条城(義昭居城) 1569 自治都市堺屈服 1570 姉川の戦い 1570 石山戦争(～80) 1571 延暦寺焼き打ち 1572 義昭、信長に宣戦 (武田信玄らを頼り) 1572 三方が原の戦い 1573 武田信玄病死 1573 義昭、降伏逃亡 (室町幕府滅亡)	織田信長 1574 狩野永徳の洛中 洛外図を謙信に贈る 指出検地、貫高制 1574 長島の一向一揆 1575 長篠合戦 (武田勝頼軍を破る) 1576 安土城 1580 安土にセミナリオ 1580 顕如、石山退去 1582 ヴァリニャーニ が天正遣欧使節 1582 本能寺の変	豊臣秀吉 大坂城(石山本願寺跡) 太閤検地、石高制 関白就任(正親町天皇) バテレン追放令 刀狩令、倭寇禁止令 聚楽第に後陽成天皇 小田原征伐(戦国終了) 人掃令 文禄の役(肥前名護屋城) ザン・フェリパ号事件(土佐) 26 聖人殉教(長崎) 慶長の役